

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	5	2年1組～3組

使用教科書	副教材
新編 新しい国語2 (東京書籍)	練成テキスト 中2国語 (育伸社) 新規 カラー 小倉百人一首 (京都書房) 継続 常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 継続 楽しい文法 (とうほう) 継続

1. 学習の目標

語彙・漢字・文法といった基礎的な知識の習得と、文章を構造的に読み解く習練を通じて、文章を正確に理解する力を涵養する。また古典に親しむための初歩的な知識 (古文単語・漢文訓点・古典文法) について学ぶ。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
国語への関心が高く、自ら進んで文章に接し、理解の幅を広げようとしている。	他者の発言・文章を正確に理解し、また自分の考えを明快なことばで表現できる。	目的に応じた読みやすい文字を、正しい筆順・形で書くことができる。	読書が生活の中に無理なく浸透し、あらゆる種類の文章を正確に理解することができる。	偏った知識にとらわれず、ものごとを多角的にとらえ考えることができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	未来へ	詩の意味を捉え、読み方を工夫する。	定期試験 漢字小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		メッセージをどう聞くか	自分自身の経験に照らし合わせて、作品を読み深める。	
		短歌を楽しむ	短歌の形式や表現について学ぶ。 短歌の表現の工夫などを捉えて鑑賞したことをまとめる。	
		短歌のリズムで表現しよう	自然や体験の描き方を工夫して短歌を創作する。	
	5	方言と共通語・敬語	さまざまな言葉のあり方を知る。	
		字のない葉書	登場人物の言動の意味に注意して、作品を味読する。	
		卒業ホームラン	登場人物の価値観や考え方を捉え、自分の考えを持つ。	
6	鯉節—世界に誇る伝統食	文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取る。		
	枕草子 清少納言と紫式部	女房文学が生まれた背景や作者の人物像について知る。 古典特有の言葉遣いや文法に慣れ、文章を正確に読解する。古典特有のリズムを味わいながら音読する。		
7	用言の活用	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。		
2	9	哲学的思考のすすめ	論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。	定期試験 漢字小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		助詞の働き	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。	
		走れメロス	人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み味わう。	
		徒然草	現代語訳を手がかりにして、内容を読み取る。	
	10	落葉松	詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取る。	
		「正しい」言葉は信じられるか	事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。	
		歴史の物差し—水月湖の年縞	さまざまな情報源からの情報を比べてまとめる。	
	11	漢詩 漢詩の世界	漢詩の形式を理解し、情景や作者の心情を捉える。 漢詩の味わい方を学ぶ。	
		話し言葉と書き言葉	それぞれの長所と注意点を知る。	
12	助動詞の働き	口語文法の基礎を確認し、さらなる理解をめざす。		

3	1	坊ちゃん	文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	定期試験 漢字小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		私が一番きれいだったとき	心情が読み取れることばに注意して詩を読む。	
		平家物語	登場人物の状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取る。	
	2	古文文法基礎(用言)	古文の用言について学ぶ。	
		3	問題演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。
定期テストの前1週間には原則として問題演習(練成テキスト)を取り入れる。

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	歴史的分野	4	中学2年1組～3組

使用教科書	副教材
新しい社会歴史 (東京書籍)	総合歴史 神奈川県版 (浜島書店) 中学実力練成テキスト 社会歴史 (文理)

1. 学習の目標

歴史的分野からの広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
歴史的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求し、広い視野に立って我が国の文化と伝統について考え国民としての自覚を持つとする。	歴史的事象から、課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断する。	年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめたり、発表や討論などを行う。	我が国の歴史の大きな流れと各時代に特色などを我が国の歴史と関連ある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 歴史のとらえ方 第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと日本の成り立ち	・中学の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高める。 ・人類が出現し、やがて世界の古代文明が生まれたこと、また日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解する。	※臨時休業中の評価 問題集ノートの提出 動画授業ノートの提出 休業明けの小テスト 授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出 定期試験の成績
	5	2節 古代国家の歩みと東アジア世界	・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治を通して理解する。また、国際的な要素を持った文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを、資料流などを活用してとらえる。 ※以上は動画による配信授業で実施	
	6	第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動	・平安時代の社会から生まれた武士が次第に力をつけ、ついに鎌倉幕府が成立するに至った経緯のあらましを理解する。 ・鎌倉時代の宗教と文化に見られる新しい動きを理解し、当時の社会との関連を考える。 ・鎌倉幕府滅亡、南北朝の動乱、室町幕府の成立、応仁の乱と戦国大名の登場を通して、武家政治の展開を理解するとともに、室町時代の新しい文化の特色を理解し、今日の文化との関連を学ぶ。 ・元寇、日明貿易、琉球の国際的役割を通して、東アジア世界との関わりを考え、日本の歴史に与えた影響を理解する。 ・諸産業が発達し都市や農村に自治的なしくみが生まれるなど、民衆が成長していった事を理解する。	
7				

2	9	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解し、鉄砲とキリスト教の伝来を中心に日本の政治や文化に与えた影響を考える。 ・織豊政権下で新たに成立した近世社会の特色を理解する。 ・東南アジアとの貿易、キリスト教への対応、朝鮮侵略を通し、織田・豊臣の時期の対外関係のあらましを理解する。 	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出 定期試験の成績
	10	2節 江戸幕府の成立と鎖国	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解し、江戸時代の身分制度と武士・百姓・町人の暮らしに関心を持ち、身分によるきびしい差別があった理由を考える。 ・貿易の振興から鎖国へと対外政策の変化が国内政治に与えた影響と、朝鮮・琉球・アイヌの人々の交流など鎖国体制下の対外関係を理解する。 	
		3節 産業の発達と幕府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史的事象などから、農業など諸産業の発達の様子を理解し、諸産業が発達した理由や影響を考える。 ・幕府の政治改革を取り上げておもな内容を理解し、改革が必要になった理由を考える。 ・華やかな町人文化や地方の生活文化の広がりや、江戸時代の学問の発達の中に、新時代を切り拓く動きが見られることを理解する。 	
	11	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解する。 ・開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考える。 	
	12	2節 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の経緯に関心を高め、意欲的に追究する。 ・明治維新を諸改革の内容を通して理解し、短期間に近代国家の基礎を整えた政府や人々の努力や生活の変化について多面的・多角的にとらえる。 	
3	1	3節 日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・急速に近代化を進めた日本の国際的な地位の向上と、大陸への帝国主義的進出の経緯を理解する。 ・近代文化が形成されたことを、学問や科学技術で国際的な業績が生まれたことから理解する。 	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出 定期試験の成績
		第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の原因や概要について考え、帝国主義などの背景や現在まで続く民族問題についても関心を持つ。 ・日本の大正時代の様子について、大正デモクラシーや多くの民衆運動を通して調べ、考える。 	
	2	2節 世界恐慌と日本の中国侵略	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の原因について理解するとともに、各国の対応の違いを考え、ファシズムの台頭について自分の意見を持つようにする。 ・日本の大陸進出、軍国主義化の経緯を、地図などを用いて具体的に理解する。 	
	3	3節 第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の原因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考える。 ・戦争体験者などに、積極的に体験談を聞く態度を持つとともに、戦争の被害と加害の実態を調べ、聞こうとする態度を身につける。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	5	2年1～3組

使用教科書	副教材
新しい数学2(東京書籍)	体系数学1 幾何編(数研出版) 体系数学2 代数編・幾何編(数研出版) 体系問題集数学1 幾何編(数研出版) 体系問題集数学2 代数編・幾何編(数研出版)

1. 学習の目標

中学生として基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。 ・自ら進んで数学的な見方や考え方の良さを認識し、考察に活用しようとしているか。	・数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができるか。	・対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ、問題を解決することができるか。	・基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識が身についているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	○幾何編(体系数学1) 第3章 図形と合同 第4章 三角形と四角形	・5単位のうち1単位を習熟度別演習とする。 ・4月、5月は動画配信による授業とする。 1. 平行線と角 2. 多角形の内角と外角 3. 三角形の合同条件 4. 証明のすすめ方 1. 二等辺三角形 2. 直角三角形の合同 3. 平行四辺形 4. 平行線と面積 5. 三角形の辺と角の大小 【習熟度別演習】1年生の復習、2年生の授業内容の演習	・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度 をもとに総合的に評価
2	9 10 11	○代数編(体系数学2) 第1章 式の計算 第2章 平方根 第3章 2次方程式	1. 多項式の計算 2. 因数分解 3. 式の計算の利用 4. 素因数分解 1. 平方根 2. 根号を含む式の計算 3. 有理数と無理数 1. 2次方程式の解き方 2. 2次方程式の応用	・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度 をもとに総合的に評価

	1 2	第5章 確率と標本調査	1. 場合の数 2. 確率の計算 3. 標本調査 【習熟度別演習】 2年生の授業内容の演習	
3	1 2 3	○代数編 (体系数学2) 第4章 関数 $y = ax^2$	1. 関数 $y = ax^2$ 2. 関数 $y = ax^2$ のグラフ 3. 関数 $y = ax^2$ の値の変化 4. 関数 $y = ax^2$ の応用 5. いろいろな関数 【習熟度別演習】 2年生の授業内容の演習	・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度 をもとに総合的に評価

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (物理・地学)	2	2年1～3組

使用教科書	副教材
未来へ広がる サイエンス2 (啓林館)	新中学問題集 理科 2年

1. 学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解する。
授業での知識を問題演習により整理し定着する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
授業に積極的に取り組む。提出物を提出する。	物理的な思考を身に付ける。	表・グラフの整理、数値を用いた問題を解ける。	現象を論理的に説明する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	地球の大気と天気の変化	4月～5月は授業動画と視聴する。 空気中の水の変化 ・霧のでき方 ・雲のでき方 ・空気中に含まれる水蒸気 ・地球をめぐる水 ・地球環境の変化による天候の変化	提出物 小テスト 定期試験 (中間・期末) 授業態度 (意欲・態度・発言など) をもとに総合的に評価する。
	5		天気の変化と大気の動き ・風がふくしくみ ・大気の様子 ・大気の動きによる天気の変化	
	6		大気の動きと日本の四季	
	7		・陸と海の間の大気の動き ・日本の四季の天気	
2	9	電流の性質とその利用	電流の性質 ・電流が流れる道すじ ・電流の規則性 ・電圧の規則性 ・電圧と電流の関係 ・電流のはたらきを表す	
	10		電流の正体 ・静電気 ・静電気と電流の関係 ・電流の正体	
	11			
	12			
3	1	電流と磁界	・磁石の性質とはたらき ・電流が作る磁界 ・モーターのしくみ ・発電機のしくみ	
	2			
	3		問題演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (生物・化学)	2	2年1～3組

使用教科書	副教材
啓林館 未来へひろがる サイエンス2	新中学問題集 2年

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・生物の基本単位である細胞を理解し、さらに動物の生活や、からだのつくりの多様性と共通性を理解する。 ・動物が、外界からの刺激に対してどのように受け取り反応しているか、また、からだの働き・動きについて理解する。 ・物質を分解するとどうなるか、分子・原子について理解する。 ・物質の化学反応について、そのしくみと質量・熱の変化について理解する。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
科学的な事柄・現象に興味を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的な見方を身につけている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見だし、事象を論理的に考察することにより問題を解決し、科学的に判断することができる。	科学的な事柄・現象に関する観察・実験の技能を習得し、科学的に探求する方法を身につけ、過程や結果・考察を的確に表現することができる。	観察・実験などを通して、科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	【化学分野】 1章 物質の成り立ち (動画配信) 2章 さまざまな化学変化 (動画配信)	<ul style="list-style-type: none"> ・物質がどこまで分解できるか、水を例にして学ぶ。 ・原子・分子について学び、また分子の結びつきについて理解する。 ・物質を表す記号と化学式について学ぶ。 ・物質が結びついて、新しい物質ができる化学変化について学ぶ。 ・炭酸水素ナトリウムを熱した様子を調べ、変化を観察し、分解について理解する。 ・物質が燃えるときの化学変化のしくみを理解する。 ・記号をつかって化学反応を表すことを知る。 ・化学反応式の意味について学習する。 	定期試験、小テスト、授業態度、提出物をもとに総合的に評価する。
2	9 10 11 12	3章 化学変化と物質の質量の規則性 【生物分野】 1章 生命の体をつくる細胞 2章 生命を維持するはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化の起こる前後で、物質の質量がどう変化するかを調べ、質量保存の法則を理解する。 ・金属を熱したときの質量変化を調べ、その結果から金属の質量と加増する酸素の割合を調べ、原子どうしが決まった割合で結びつくことを理解する。 ・細胞は生命体の基本単位ということを理解し、細胞のつくりを学ぶ。 ・動物は食物をどのように取り入れ、吸収し、エネルギーを得ているのか、そのしくみを理解する。 ・動物が食物を吸収した後、不要な物質をどのように排出しているのかを学ぶ。 	定期試験、小テスト、授業態度、提出物をもとに総合的に評価する。
3	1 2 3	3章 感覚と運動のしくみ 4章 動物の仲間と生物の進化 学年総復習演習	<ul style="list-style-type: none"> ・動物が外界からの刺激を受けてから反応をするまでの経路を学ぶ。各感覚器官で受け取り、その刺激が脳や脊髄に伝えられ、筋肉において反応が起こるまでのしくみを理解する。 ・動物は生活様式や、からだのつくりによって分類されている。 ・動物の特徴を比較・整理し、セキツイ動物を分類することができることを学ぶ。 ・問題演習を通し、化学変化について理解を深める。 ・一年間学習したことを、形成的・横断的に理解する。 	定期試験、小テスト、授業態度、提出物をもとに総合的に評価する

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	2年1～3組

使用教科書	副教材
教育芸術社 中学生の音楽 2・3上 教育芸術社 中学生の器楽	なし

1. 学習の目標

音楽の基礎的なことを学習すると共に、歌唱や器楽等の楽しさを味わう。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
興味・関心をもち、意欲的、積極的に参加している。	歌詞の内容や楽曲の背景を感じ取り、どのように表現するか考える。	自己のイメージを表現するための技能を身につける。	感性を働かせて、音楽の要素を知覚し、音楽の良さや美しさを感じ取る。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱練習	「翼をください」の歌唱練習を自宅で行う。(動画配信) 「翼をください」について調号、反復記号等を学習する。 (動画配信)	期末試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	5	歌唱練習	「夏の思い出」の音取りを自宅で行う。(動画配信)	
	6	歌唱 音楽鑑賞	「夏の思い出」について学習する。 ベートーヴェン交響曲第5番「運命」の鑑賞を行う。	
	7	期末試験		
2	9	ソルフェージュ 器楽練習	音の聴き取り練習を行う。 アルトリコーダーの練習を行う。	実技試験、期末試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	10	器楽練習 DVD鑑賞	アルトリコーダーの練習を行う。 ミュージカルの鑑賞を行う。	
	11	実技試験 音楽鑑賞 合唱練習	アルトリコーダーの実技試験を行う。 オペラ「アイダ」の鑑賞を行う。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
	12	期末試験		

3	1	合唱練習	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	実技試験、 提出物、授業中の態度 で評価する。
	2	合唱練習 実技試験	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。	
	3	実技試験	合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。 1年間のまとめ	

※ 上記の内容は、進捗によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
美術	美術	1	2年1～3組

使用教科書	副教材
美術 2. 3 (光村図書)	なし

1. 学習の目標

主体的に美術の授業に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的、総合的な考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
主体的に表現、鑑賞に取り組む姿勢を重視する。	制作の過程を通して試行錯誤、創意工夫を積極的に行う。	表現の技能を身に付け自分らしさを創意工夫して創造的に表す。	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさを理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	遠近法	遠近法について学ぶ。透視図法の作図法を用い、作品制作を行う。 自然物の造形や、それらに影響を受けた作品を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> 制作に取り組む姿勢 作品の提出 期末考査
	5	・投影図		
	6	・透視図法		
	7	・鑑賞		
2	9	デザイン	直線や円など単純な形態を組み合わせた構成を考え、「同系、類似、補色の配色」で彩色する。 素材について、参考作品を鑑賞しながら学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 制作に取り組む姿勢 アイデアスケッチ 作品の提出 期末考査
	10	・色彩構成		
	11			
	12	・鑑賞		
3	1	絵画技法 さまざまな表現	コラージュ技法を使って「空想の世界」を表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 制作に取り組む姿勢 作品の提出
	2	・コラージュ		
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合があります。

※ 4月、5月は動画配信で授業を行います。

教科名	科目名	単位数	学年・組
保健体育	保健体育	3	2年 全クラス

使用教科書	副教材
保健体育 (大修館書店)	健康手帳 (神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

<p>○自分の体力の実態を知り、仲間と協力し、進んで体力作りに取り組む姿勢を身につける。</p> <p>○運動のルールやマナーを身に付け、健康・安全に注意して運動に取り組むことができる。</p> <p>○心身の発達や心の健康について理解し、合理的に健康の保持増進に取り組む態度を身につける。</p>

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
進んで運動に親しみ、互いに協力しながら、公正な態度で授業に取り組むことができる。	自己の能力を知り、自分に適した課題や目標を考え、練習することができる。	各種目の基礎的な技能を身につけ、自己の能力に応じ高めることができる。	自己の能力や健康状態を知り、安全な行動について理解できる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	動画配信 (体づくり運動・各種エクササイズ) ○体づくり運動 (ラジオ体操・集団行動・スポーツテスト) ○保健 ・健康と環境 ※保健は随時実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操 ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、50m走、ハンドボール投げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、基本技能の習得 ・ルールの理解、試合での活躍等
	5 6 7			
2	10	○ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラン節 (リズムダンス、フォークダンス) ・課題ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験 等
		○陸上競技・器械体操 (選択) ・走り幅跳び	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な跳躍姿勢の習得 (助走、踏み切り、空中動作、着地) ・記録会 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、記録 等
		・器械体操 (選択制) (平均台・跳び箱)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習 (飛び込み前転、背支持倒立、伸膝前転、伸膝後転) ・開脚とび、かかえこみとび、台上前転、発展技等 ・発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察、出席状況 ・実技試験、演技発表 ・基本技術の習得 等
	11	・平均台	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行 (前進、後進)、その場伸身跳び、かかえ込み跳びおり、ポーズ系、正ターン 	<ul style="list-style-type: none"> 等

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	(技術分野)	1	2年1組～3組

使用教科書	副教材
東京書籍 新編 新しい技術・家庭	なし

1. 学習の目標

<p>生活を支えるエネルギー変換について知る。 ラジオ製作を通して、仕組みや工具の使い方を学ぶ。 コンピュータを通してデジタル表現や情報セキュリティ技術を知る。</p>
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
興味を持って取り組むことができたか。	授業で経験したことが修得できているか。	授業を通して学んだことを思い通りに利用できているか。	社会と技術のつながりを理解できているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	6	ガイダンス	エネルギー変換と利用について考える。	プリント
		エネルギー変換・利用と保守点検	エネルギーを安定的に供給するための仕組みを知る。 電気エネルギーの変換と利用方法を知る。 動きを伝達する仕組みを知る。	学習ノート
	7	木材加工	材料のけがきを行う。 木材を切断する。	実習 提出物 期末試験
2	9		組み立てを行う。	プリント
	10	テーブルタップの製作	機器に使われている部品を知る。 機器の保守点検の重要性を知る。	学習ノート 実習
	11	ラジオの製作	部品の働きを知る。 はんだ付けの仕方を知る。 はんだ付けを行う。	提出物
	12	組み立て	組み立てを行う。	期末試験
3	1			プリント
	2	情報セキュリティ、情報モラル	情報セキュリティと情報モラルについて知る。	学習ノート 実習
	3	デジタル作品の製作	デジタル作品を製作する。	提出物 期末試験

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	(家庭分野)	1	2年1組～3組

使用教科書	副教材
新編 新しい技術・家庭 家庭分野 (東京書籍)	なし

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・健康を支えるには、日々の食生活が重要であることを知る。 ・食品に含まれている栄養素は、食品によって違うことを知る。 ・食品群別摂取量の目安について理解する。 ・基礎縫いを身につける。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
自分の生活について関心をもち、充実・向上を目指し、主体的に取り組もうとする実践的な態度を身につける。	さまざまな分野で課題を見いだして、その解決を目指して自分なりに工夫し、創造している。	生活を充実・向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につける。	生活の意義や役割を理解し生活を充実・向上するために必要な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	わたしたちの食生活 1章 食生活と栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が果たす役割を考え、食生活を見直し、問題点に気づく。 ・栄養素の種類とそのはたらきを理解する。(動画配信) 	プリント
	5	地域の食材を生かした調理をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を生かした調理について理解を深める。 ・地域の食文化について理解する。(動画配信) 	レポート
	6 7	中学生に必要な栄養について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の時期に必要な栄養の特徴を理解する。 	プリント、試験
2	9	2章 献立作りと食品の選択		
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・食品にふくまれる栄養素を知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の栄養の特徴を理解する。 ・食品群別摂取量のめやすについて理解する。 	プリント、試験
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスのとれた食生活を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な栄養素を満たす1日の献立を考える。 	プリント、試験
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の基本 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の流れや基礎技能を理解する。 ・食材に合った調理方法を理解する。 	プリント、実習、試験
3	1	3章 調理と食文化 ・日本の食文化を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な行事食を学び、食文化について理解を深める 	プリント、試験
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選び方を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品と加工食品の特徴と種類を理解する。 ・食品添加物について理解する。 ・食品のさまざまな保存方法を知る。 	プリント、試験
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語	6	2年全クラス

使用教科書	副教材
NEW TREASURE STAGE 1・2 (Z会出版) Sunshine English Course 2 (開隆堂)	NEW TREASURE STAGE1・2 CDs for Students (Z会出版) NEW TREASURE STAGE1・2 文法問題集 (Z会出版) NEW TREASURE 英単語 STAGE2 (Z会出版) Fun Reader②(数研出版) 新ユメタン0 (アルク)

1. 学習の目標

◎正しい英語の音を理解し、聞き分け、発音できるようにする。 7. ディクテーションやシャドーイング、オーバーラッピングなどのトレーニングによる英語力の向上。 ◎基本的な英文法を理解し、反復練習により定着させ、発話、ライティング、読解をできるようにする。 7. 本文や基本例文を大事にし、暗唱を目標とする。 4. 問題集を繰り返すことで、英語に慣れる。
--

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
主体的に授業に参加し、大きな声で発音し、英語を聞き、書き、文章を読む。家庭学習の時間を毎日取り、英語習得に向けて努力している。	基本的な文法を理解し、英作文や会話表現とのつながりを意識することができる。	音読や英作文を反復して行い、英文を暗記し発話や英作文に活かす。また、それを発展させ、自身の考えを表現することができる。	英語学習を通じて異文化理解を深める。また、習得した知識を「読む、書く、聞く、話す」の4技能を用いて理解を深める。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	L. 13 There is[are]～の文 (STAGE 1)	身のまわりにあるものについて説明できる。	期末試験 授業態度 提出物 小テスト
	5	L. 14 比較 (STAGE 1)	ものごとを比較して説明できる。	
	6	L. 1 助動詞表現 (STAGE 2)	相手を勧誘したり申し出をしたりできるようになる。	
	7	1学期の復習		
2	9	L. 2 不定詞 (STAGE 2)	目的や用途について話せるようになる。	中間・期末試験 授業態度 提出物 小テスト
	10	L. 3 副詞節を導く接続詞 (STAGE 2)	時や条件、理由を添えて話せるようになる。	
		L. 4 名詞節を導く接続詞 (STAGE 2)	「…ということ」という内容や「人にものを与える」などについて話せるようになる。	
	11	L. 5 動名詞 (STAGE 2)	自分の趣味や興味のあることを伝えられるようになる。	
12	L. 6 現在完了 (STAGE 2)	過去に行ったことや過去の状態を、現在と結び付けて話せるようになる。		
	2学期の復習			
3	1	L. 1 文の構造 1 /	文の要素を区別できる。	学年末試験 授業態度 提出物 小テスト
	2	L. 4 文の構造 2 (STAGE 2)	SV00 と SVOC を使って文を作ることができる。	
		L. 7 受動態 (STAGE 2)	相手にされたことを伝えられるようになる。	

- ※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。
- ※ 授業では取り扱えない単元は季節講習で学習する。
- ※ 朝 SHR の時間を使い語句小テストを行う。
- ※ 4月、5月は動画配信で授業を行う。

令和2年度 道徳科 シラバス (中学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	2年全クラス

使用教科書	副教材
光村図書出版「中学道徳 きみがいちばんひかるとき」	なし

1. 学習の目標

他者との対話の必要性や節度・節制・生命の尊さについて考え、集団生活や学校生活を充実をめざす。遵法精神を理解し、集団の中での合意形成に主体的に参加できるようにし、自主自立の精神を涵養する。キャリア教育の一環として働くことについて考え、勤労の価値や意義と公共への奉仕の精神を学ぶ。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
自ら主体的に学ぶ姿勢をもって取り組めていたか。	他人の意見を尊重し、自分の意見との相違点をふまえて考えることができていたか。	物事を広い視野から多面的・多角的にとらえて意見を表現できていたか。	社会のルールや、人として望ましいと思われる行いを理解して行動できていたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1 学期	4	よりよい学校生活, 集団生活の充実	・さまざまな価値観が存在する集団では、どのような考えを共有することが大切かを話し合い、集団の一員として、よりよくあるために大切なことが何を考える。	発表の態度・聞く姿勢・発言の内容 観点別評価は行わない
	5	節度, 節制 生命の尊さ	・新聞記事を読み、「依存」に陥らない生活を送るために必要なことを考え、話し合う。望ましい生活習慣について考える。 ・『「生きている」と感じる時』を読み、「生きているのはあたりまえではない」ことについて話し合い、「生きている」ことの尊さについて考える。	
	6	友情, 信頼 希望と勇気, 克己と強い意志	・友達との関わりを振り返り、自分にとって友達とはどんな存在かを考える。 ・高校では3年間ずっと控え投手だった黒田投手が、プロ野球選手として活躍したことを通じて、挫折や失敗を乗り越え、一つのことを達成するのに大切なことを考える。	
2 学期	7	自主, 自律, 自由と責任	・電車の中で転がる空き缶をどうするか迷う主人公の姿を通して、物事を自主的に考え、判断し、誠実に実行して、その結果に責任をもとうとする実践意欲と態度を学ぶ。	
	7	友情, 信頼	・主人公が、本当に友達を気遣うことの大切さについて気づく物語を通して、他者との友情と信頼を築いていこうとする実践意欲と態度を学ぶ。	
	9	思いやり, 感謝 勤労	・松葉づえを使う転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「思いやり」の心をもって行動しようとする判断力や心情を学ぶ。 ・被災者の健康を考えて段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公表した会社の話を通して、働くことの意味と、人や社会のために働いていこうとする実践意欲と態度を学ぶ。	
	10	希望と勇気, 克己と強い意志 礼儀	・障害を克服し、パラリンピックで数々の新記録を樹立して金メダリストとなった成田真由美さんの姿を通して、目標を設定し、困難を乗り越えていくために大切な思いについて話し合い、考える。 ・職場体験で、心の籠もった礼儀の在り方にふれた二人の生徒の物語を通して、礼儀にはどのような意味があり、時と場になかった適切な行動がとれるかを考える。	

3 学 期	11	相互理解, 寛容 社会参画, 公共の精神	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメートの言動を自己中心的だと誤解した生徒の物語を通して, 考えの違いを尊重し合うためには, どのようなことが大切なのかを考え, 話し合う。 ・日本とバングラデシュの社会の違いについて述べた文章を通して, 一人一人が手を携えて社会をつくっていくために大切な考えについて話し合い, 社会や公共の問題に参画していこうとする姿勢を学ぶ。 	発表の態度・聞く姿勢・発言の内容 観点別評価は行わない	
	12	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを思う心について考え, 自分の住む地域の伝統や文化について意見を出し合い, それらを守り発展させるために自分たちにできることを話し合う。 		
	1	国際理解, 国際貢献 相互理解, 寛容	<ul style="list-style-type: none"> ・「アンネのバラ」を育て続けている中学校の生徒たちの実話を通して, 平和な世界を実現するために, 大切なことは何かを考え, 話し合う。 ・「桃太郎」の鬼の子供の視点から捉えた広告作品を通して, 考え方や立場の違うものどうしが理解し合うにはどうしたらよいかを考え, 他者への寛容な気持ちや心情を学ぶ。 		
	2	節度, 節制 社会参画, 公共の精神	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根駅伝で優勝を果たした選手たちの日常生活について書かれた文章を通して, 将来をより豊かにするための生活習慣について考えさせ, 節度ある生活を送ろうとする実践意欲と態度を学ぶ。 ・ボランティアで紙芝居を上演することになった生徒たちの物語を通して, 社会に積極的に関わっていくことの大切さについて考え, 社会的な役割を果たし, 自ら協力していこうとする実践意欲と態度を学ぶ。 		
	3	生命の尊さ	<ul style="list-style-type: none"> ・亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して, 「生きる」ということについて考え, 生命を尊重しようとする心情を学ぶ。 		

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2 (70時間)	2年全クラス

使用教科書	副教材
なし	

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	国際理解教育 (4, 5月は動画配信)	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	8	食品加工実習	1年次の農場実習から継続する食育教育の一環として、普段食べている豚枝肉を解体から見学し、ソーセージの段階まで調理することによって、食肉のありがたさを理解する。(8時間:事前・事後指導を含む)	
2	9 10 11	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	10	職業体験	1年次の職業学習をもとに、実社会で働くことで社会性を養い、礼儀を身に付けるとともに勤労の意義や尊さを知り、正しい職業観を培う。この経験をふまえ、今後の進路について考える機会とする。(19時間)	
	12	畜産・機械実習	農場実習、食品加工実習と連動した食育の一環として、牛と豚の世話を実際に体験することで食肉が初めから製品の形で存在するのではないことを実感する。また、トラクターの運転を経験し、農業への関心を高める。(8時間:事前・事後指導を含む)	
3	1 2 3	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。